



自分では気づきにくい…

“大人むし歯” になっていませんか？

厚生労働省の歯科疾患実態調査によると、40歳以上の**抜歯**の約4割は「むし歯」が原因です。そこで今回は、大人ならではの**“大人むし歯”**についてお話をさせていただきます。



大人むし歯の特徴

大人むし歯には主に次のような特徴があります。

1 むし歯の痛みを感じにくい

歯の断面図

エナメル質 象牙質
しずいくう 歯髄腔 (歯の神経が入っているところ)

子どもの歯(乳歯)はエナメル質が薄いためむし歯の痛みに敏感です。一方、大人の歯(永久歯)はエナメル質が丈夫でむし歯はできにくいですが、内部の神経を守るように象牙質が分厚くなっているため、むし歯ができて痛みを感じにくくなります。

2 治療した歯が再びむし歯になる

二次カリエス

過去の詰め物 むし歯
すきま 隙間

ある程度の年月が経過すると接着剤の劣化などにより隙間ができる。

特に多いのが、過去に治療した部分の詰め物(かぶせ物)と歯との間に隙間ができ、むし歯になるケースです。これを“二次カリエス”と呼びます。このようなむし歯は見えにくいので、注意が必要です。

3 歯ぐきの下がってしまった部分に注意

歯の根元にできたむし歯

象牙質 むし歯
下がった歯ぐき

加齢や歯周病の進行によって歯ぐきが下がると、もともと歯ぐきに隠れていた歯の根元の“象牙質”が露出してきます。この部分はエナメル質に覆われておらず、むし歯になりやすい特徴があります。また、歯みがきの時にゴシゴシ強い力でみがくことも、歯ぐきが下がる原因のひとつです。

“大人むし歯”は発見が難いため、定期的に歯科医院でのチェックをおすすめします。



2 患部を冷やす

お出かけ先で歯が急に痛み出した時は、患部を頬の上から冷やしましょう。血行が良くなる飲酒・長湯・運動などは禁物です。旅先での楽しい時間を台無しにしないためにも、お出かけ前にはしっかり治療をしておくとお安心ですよ。